

摂津市史編さん進む

問合せ 生涯学習課市史編さん係 ☎06(6319)0587
 (火)金曜日 午前9時～午後5時



本市は、淀川・安威川などの河川に挟まれた低地であったため、古来幾度となく自然災害に見舞われてきました。一方、数千年前の縄文時代には人が住み始め、平安時代には鳥飼地区に宇多天皇の離宮があるなど、淀川水上交通の要衝の地として栄えてきました。

市民の皆さんにこのような地域の風土・歴史に関心を持ち、郷土への理解を深めるきっかけにしたいとの思いから、「新修摂津市史」の編さんを進めています。

また、市史編さん事業は、失われつつある地域の歴史資料を調査研究し、保存することで、魅力ある郷土の歴史を後世に伝える使命も帯びています。

平成23年度から作業を進め、来年度ついに、第1巻を刊行する予定の市史編さん事業を紹介し、その魅力をお伝えします。

市史発刊に向けて

はじめての市史刊行は、昭和52年。それから30年余りが経った平成23年度に新たに市史編さんの専門部署を立ち上げ、事業がスタートしました。

現在刊行を進めている「新修摂津市史」は、他地域との歴史的なつながりも含めて編さんを進めています。時代の流れに沿った通史と民俗で3巻、美術・建築・地理の分野で1巻の、全4巻を予定しており、令和6年度までの完成を目指しています。

地道な作業

古記録と言われている古い史料から関係する記述を探し出したり、市内の個人所蔵の古文書や写真などを調査したり、昔をよく知る人からの聞き取りを行うなどしています。



江戸時代の冊子をデジタル撮影

特に、漢文やく

ずし字などで書かれた文書史料は一点一点専門の職員が読み解き、分類整理し、撮影するなど、地道な調査が繰り返されます。

この調査をもとに、執筆者が市史を執筆するため、史料調査が市史の質を左右すると言えます。



刊行の方針などを決める編さん委員会



専門調査員が古地図を読み解く

“淀川流域”に特化した史料集刊行

淀川の右岸に位置し、その水運の恩恵とともに育まれてきた本市は、全国的にも珍しい“淀川流域”に特化した史料集「新修摂津市史 史料と研究」第3・第4号を刊行しています。

平清盛、源義経、後鳥羽上皇などの歴史上有名な人物も登場します。



講演会のお知らせ

「古代中世の淀川と三島」

とき 9月28日(土) 午後1時半から
 ところ コミュニティプラザ2階・会議室1・2
 内容 「三島を中心とした古代淀川流域の動向」
 大阪大学准教授・市 大樹氏
 「平安・鎌倉時代の北摂武士団と淀川」
 花園大学専任講師・生駒 孝臣氏
 「院政期の寺社参詣と淀川」
 摂津市史編さん嘱託員・曾我部 愛氏

その他の主な発刊物

- 「ふるさとを知ろう 摂津市の歴史」
 摂津の魅力ある歴史トピックスがまとめられている50周年記念誌
- 「新修摂津市史 史料と研究」(第1・2号)
 各小学校の沿革(第1号)、江戸・明治初年の各村のお触書き(第2号)
 ※発刊物は販売もしています。